

作業療法学生が市報に掲載されました

超高齢社会を迎えた現在、高齢者や認知症の方のサポートの必要性が求められています。

私たち文京学院大学・作業療法学科は、ふじみ野市と連携し、介護予防教室への参加や、認知症サポーター養成講座の受講など、地域に暮らす高齢者や認知症の方々と直接ふれあい、サポートのあり方を学ぶ機会を設けています。今回その一つである「認知症サポーター養成講座」を実際に学生が受講し、その後の取り組みが、ふじみ野市の市報に掲載されました。是非ご覧ください！

クリックで拡大できます！

市民全員がサポーターなら安心して備えられる
 「認知症は高齢者が抱える病気」ではなく、「認知症は誰でもかかる可能性がある」という認識が重要だと、ふじみ野市で認知症サポーター養成講座を受講した文京学院大学作業療法学科の学生が語った。市民全員がサポーターになれば、認知症の方のサポートがよりスムーズに行きわたる。市民全員がサポーターなら安心して備えられる。市民全員がサポーターなら安心して備えられる。

声掛けする勇気ができました！
 大学の授業の一環で、認知症サポーター養成講座を受講しました。その翌週、市内の公園で不安そうにしている人を見かけました。声を掛け、ご家族に連絡し迎えに来てもらうことができました。認知症がどんな病気かや声掛けの方法を学んでいたで「認知症の人かもしれない」と気づき、声を掛ける勇気ができました。

で「サポーター」の人へは「ヒッポロープ」講座は
 認知症サポーター養成講座を受講した。市民全員がサポーターなら安心して備えられる。市民全員がサポーターなら安心して備えられる。

ひとり歩き（徘徊）高齢者早期発見ステッカー
 ひとり歩き（徘徊）のおそれのある在宅高齢者が行方不明となったとき、早発見・早救済の未然防止のために配布しています。このステッカーを、誰やついでに貼ってある人が役所に一人でも見つけたときや、困ってる様子を見かけたときは、ステッカーの番号を業務課に電話（TEL 762・9036）や乗入居着啓事生活安全課（TEL 269-0110）へご連絡ください。ステッカーの配布を希望する人は、担当のケアマネジャー、高齢者あんしん相談センター、高齢福祉課へご相談ください。

